

RUBeC 演習に参加して

北川 和宜

Kazuki KITAGAWA

物質化学専攻修士課程 1年

1. はじめに

今回、私たちは2016年8月13日から9月2日までの2週間、龍谷大学北米拠点 RUBeC (Ryukoku University Berkeley Center) で行われた RUBeC 演習 I を履修しました。この演習では、Technical Writing と Oral Presentation Skills の二つの授業があり、主に学会要旨の書き方や、英語でのプレゼンテーションの仕方などを学びました。また、授業時間外ではアメリカの企業や大学など様々なところに訪問をさせていただき、多くの事を学ぶことができました。

ここでは演習の授業で学んだことと、アメリカの企業や大学などを訪問して学んだことについて報告させていただきます。

2. 授業内容

2.1 事前準備

事前準備として、私が行っている研究内容を Word と PowerPoint でまとめるという作業を行いました。RUBeC 演習では、この資料を用いて授業を行っていきました。

2.2 Technical Writing

この授業では、1週目は冠詞や前置詞などの文法、2週目は Word で作成した資料の修正を主に行ってきました。資料の修正では、文法に気を付けるだけでなく、誰にでも理解ができるように、より簡単な単語で説明をするという練習をしました。

2.3 Oral Presentation

この授業では、プレゼンテーションを行う際に重要なポイントを学び、最後に PowerPoint で作成し



図1 プレゼンテーションの様子

た資料の発表を行いました。主に単語の発音や強調の仕方などを学びました。

3. 企業視察

企業訪問では、カリフォルニア州サンタローゼ市にある Thermal Technology 社に訪問させていただきました。この企業は炉、ホットプレスシステム、SPS (放電プラズマ焼結) や DCS (直接通電焼結)、グラファイトホットゾーンなどを扱っており、中でも SPS に注目し研究を行っていました。

SPS は特殊な直流パルス電圧・電流を直接材料に印加するもので、加熱・徐冷の速度も速く、ホットプレス焼結では $10^{\circ}\text{C} \sim 20^{\circ}\text{C} / 1 \text{ min}$ で4時間かかってしまうのに対して、SPS では 2500°C まで $100^{\circ}\text{C} / 1 \text{ min}$ で15分あれば加熱することが可能であるというものです。

4. 大学訪問

大学訪問では、カリフォルニア大学デービス校 (UC Davis) を訪問させていただきました。

UC Davis は1905年に設立され、100年以上の歴史ある大学であり、約 30 km^2 と非常に広い敷地をもっています。在籍している生徒は、学部生が約27000人、大学院生が約7000人在学しているとのことでした。また、サクラメント空港から近いために、カリフォルニア出身の学生だけでなく、様々な



図2 カリフォルニア大学デービス校の学校説明



図3 RUBeC 演習参加者の集合写真

国籍の学生も多く在籍しています。

キャンパス内は非常に緑豊かなところであり、多くの生徒が外で読書をしたりしていました。このように、非常に環境がよく過ごしやすい印象の大学でした。

また、私たちは工学部の研究室に訪問させていただきました。この研究室では地震について研究を行っており、全長 18 m の遠心分離機を用いて疑似的に地震を模倣し、解析を行うという研究を行っていました。

5. おわりに

今回、RUBeC 演習に参加することで、私自身の英語力能力が不足していることを実感しました。また、英語能力が完璧でなくても、なんとか海外で生活ができることも実感できました。英語力を上げていくことで将来的には海外の方と不自由なく話することができるようになりたいと強く感じることができました。これから就活が控えていますが、今回の経験を経て、国際的な仕事もどんどんしていきたいと感じました。そのため、この経験を就職活動にも生かしていきたいと思います。